

9月定例会市議会での
党市議団の一般質問をご紹介します。



原発のPR施設「パーク大飯」(議会での視察の様子)

原発への市長見解を質す

佐々木市議は、**佐々木しょういち 市議**
7、8月の定例記者会見での市長発言「原発の安全性は電力会社や保安院を信用するしかない。代替エネルギーへの転換は現状維持でよい」は、問題ありと追及。

市長は、「原発の危険性は深刻だと認める。原発からの撤退は進めていくべきで、中立公正な原子力の規制機関を国に求めていく」と見解を変えました。

これを言葉だけで終わらせることなく、具体的政策に生かすためがんばります。

今後の具体的政策
推進が課題

実態把握・条例制定も
市は責任回避

公共工事で
貧困つくるな

市内の建設業者などから、「市の工事を入札したが、請負額が低すぎて赤字に」、「入札制度に登録したが、提示額が低すぎて一度も参加したことがない」などの声があります。入札での価格競争が激しく、仕事を受けても営業や生活に困窮する企業や労働者が増えています。

きのせ市議は、まずは公契約の労働実態を把握し、さらに低価格競争に歯止めをかける公契約条例の制定を求めましたが、市の答弁は責任を回避。引き続き、追及していきます。

きのせ明子 市議

子どもの貧困対策
公共料金の減免や就学支援など連携した取り組みを

昨年度日本の貧困率は16%と上昇。大津市では5人に1人の子どもが就学援助を受けるなど、貧困問題解決は市政の重要課題になっています。

塚本市議は、低所得世帯への公共料金の減免や市の関連する仕事への雇用を検討すること、対象児童への支援体制を整え、学力向上や就学支援の体制を整備することなどを求めました。市は当面、子どもの医療費無料化などの施策で対応すると答えましたが、市全体で連携した取り組みを検討するべきです。

つかもと正弘 市議

志賀地域新事業

岸本のり子 市議

志賀地域では合併により、地元業者の仕事が減り、経営が悪化。廃業する事業者も出ています。

岸本市議は、新たに予定されている志賀聖苑での葬祭業務を、志賀地域の雇用や経済の活性化につなげるよう要求。市は地元企業、商店に発注するなど配慮するよう協定に明記すると答弁しました。

湖西道路和邇ランプに建設予定の道の駅やリユース事業など、産業振興と共に雇用の拡大などで活性化につなげるべきです。

地元業者や地域が
潤う事業に



現在、建設中の志賀聖苑

「駅にエレベーターの設置を」
もとめる請願

自民・公明・民主系などが否決

志賀北部地域では、最寄りの病院やスーパーに行くのでさえJRが必要なのに駅階段は4階建ての公共施設に匹敵。「このままでは暮らしていけない」と、お年寄りを中心に、3400筆を超える請願が届けられました。乗降客数に関係なく、市町村がバリアフリー基本構想に位置づけることで設置が可能となるものでしたが、こうした切実な願いにさえ賛成少数で請願は不採択となりました。

補助の増額・乗降客数の基準緩和を求める意見書は全会派一致で採択されました。

意見書・請願への各派態度

	内容	共産党	湖誠会	市民21	大志会	公明党	清正会	みんな風	側隠	結果
主な意見書	鉄道駅などのバリアフリーの推進	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
	原発から再生可能エネルギーへの転換を	○	×	×	×	×	○	○	×	不採択
	農漁業経営保護のため軽油免税の継続を	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
請願	蓬萊駅以北のJR駅にエレベーターの設置を	○	×	×	×	×	○	○	×	不採択

※会派名は、一部省略しています。

10年計画で市内の道路照明灯をLED
化・消費電力6割削減をめざす

住宅用太陽光発電システム設置
補助金が増額

肝炎ウイルス検査・40〜60歳(5歳毎)
の方に無料受診券の送付開始